

2021 年度春季全国鶏病技術研修会の開催について

会員各位

2020 年から 2021 年にかけて世界各国で高病原性鳥インフルエンザの発生が非常に多くみられております。わが国においても野鳥および家禽において、例年になく非常に多くの高病原性鳥インフルエンザの発生がみられ多大の被害が出ております。被害に遭われた方々に深くお悔やみ申し上げますとともに、対応にあたられた方々、関係者の皆様に深く敬意を表します。そのような状況の中、会員の皆様には鶏病研究会の活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

さて、2021 年度春季全国鶏病技術研修会の開催についてです。昨年度、この春季全国鶏病技術研修会は新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止とさせていただきました。今年度は、是非集合形式での開催をと考えておりましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら集合形式での開催は見送らせていただきます。その代替法としまして、今年度は、昨年度の支部長会議や賛助会員会議でご要望のありましたオンライン形式での開催とさせていただきます。この春季全国鶏病技術研修会は 2021 年度の活動となりますので、本来ならば総会での承認をいただいた後で開催すべきところではありますが、総会の準備が遅れております関係上、時間的な問題もありますので総会前の開催となりますことご了解いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

今年度テーマは、「養鶏分野におけるアニマルウエルフェア対応」で、鹿児島大学名誉教授の高瀬公三先生にご講演をいただきます。ブロイラーにおけるアニマルウエルフェア (AW) についてはすでに国際獣疫事務局 (OIE) でガイドラインが出ていますが、採卵鶏での AW については現在協議中で、今年 5 月の OIE 総会で決議される予定とのことです。養鶏に関わる方々にとって非常に関心の高いテーマであり、高瀬先生には豊富な写真や図で詳しく丁寧に解説いただきました。直接お話を聞くことができないのは非常に残念ではありますが、お忙しい方々、研修会に直接参加が難しい方々等にとっては、ご自身のご都合に合わせて、何回もあるいは聞き逃した部分もまた戻って確認できるなど利点もあります。このオンライン研修会が皆様にとって非常に参考となり、業務の推進に役立つなど有意義な研修会になりますことを切に祈念いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。

鶏病研究会 理事長
磯部 尚